

報道関係者 各位

令和2年8月31日

【照会先】

職業安定局地域雇用対策課

課長 竹内 聡 (内線 5319)

課長補佐 溝口 悦子 (内線 5865)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3593)2580

令和2年度「地域雇用活性化推進事業」の 採択地域に、9地域を決定しました

厚生労働省は、雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域などが、地域の特性を生かして「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るために創意工夫する取組を支援します。この「地域雇用活性化推進事業」（令和2年度開始分）での採択地域に、9地域を決定しました。

地域で効果的に「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るためには、産業構造や地理的要因といった特性を踏まえた取組が必要です。

「地域雇用活性化推進事業」では、地方公共団体の産業振興施策や各府省の地域再生関連施策などと連携した上で、地域独自の雇用活性化の取組を実施します。具体的には、地域の市町村や経済団体などの関係者で構成する地域雇用創造協議会が提案した事業構想の中から、雇用を通じた地域の活性化につながると認められるものをコンテスト方式で選抜し、その実施をこの地域雇用創造協議会に委託します。

令和2年度の募集は、令和2年4月1日から令和2年5月22日にかけて行い、外部の有識者を含む選抜・評価委員会での審査を経て、以下の9地域を採択しました（各採択地域の事業概要は別添参照）。採択地域では、令和2年10月から事業を開始する予定です。

【採択地域】

- | | | |
|-------------|------------|---------------|
| 1. 北海道釧路市 | 2. 北海道北見市 | 3. 岩手県二戸地域 |
| 4. 埼玉県ちちぶ地域 | 5. 島根県江津市 | 6. 愛媛県西予市 |
| 7. 熊本県熊本市 | 8. 熊本県天草地域 | 9. 鹿児島県奄美大島地域 |

※地域の雇用創出目標数などの詳細は別添をご覧ください。

【別添1】 地域雇用活性化推進事業（令和2年度開始分）採択地域一覧および事業概要

【別添2】 地域雇用活性化推進事業の概要

[参 考] 「地域雇用活性化推進事業」ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03839.html

地域雇用活性化推進事業(令和2年度開始分)採択地域一覧

地域名			地域分類	事業タイトル	ページ 番号
1	北海道	釧路市	過疎等地域	「人」と「外貨」を増やし「地域の誇り」を取り戻す ～多様な人材の活躍を目指す地域雇用活性化プロジェクト～	3頁
2	北海道	北見市	過疎等地域	NEW NORMAL ～時代の変化に適応する地域雇用基盤の創出	4頁
3	岩手県	二戸地域 (二戸市、一戸町、軽米町、九戸村)	過疎等地域	ものづくり・ひとづくりで魅力ある雇用を！そして輝く、カシオペア地域へ	5頁
4	埼玉県	ちちぶ地域 (秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)	過疎等地域	健やかに彩り豊かなちちぶで働こうプロジェクト	6頁
5	島根県	江津市	過疎等地域	江津に住みたい！ ～「選ばれる地域のGOTSU」創造プロジェクト	7頁
6	愛媛県	西予市	過疎等地域	まちの復興から沸幸へ 企業と人の魅力向上による「西予市雇用創出プロジェクト」	8頁
7	熊本県	熊本市	過疎等地域	くまもと雇用創造プロジェクト ICTデータ利活用人材	9頁
8	熊本県	天草地域 (天草市、上天草市、苓北町)	過疎等地域	人を残す！会社を残す！ ～天草宝島の雇用創出プロジェクト～	10頁
9	鹿児島県	奄美大島地域 (奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町)	過疎等地域	奄美の魅力を世界へ発信！ ～人財確保でしあわせの島実現プロジェクト～	11頁

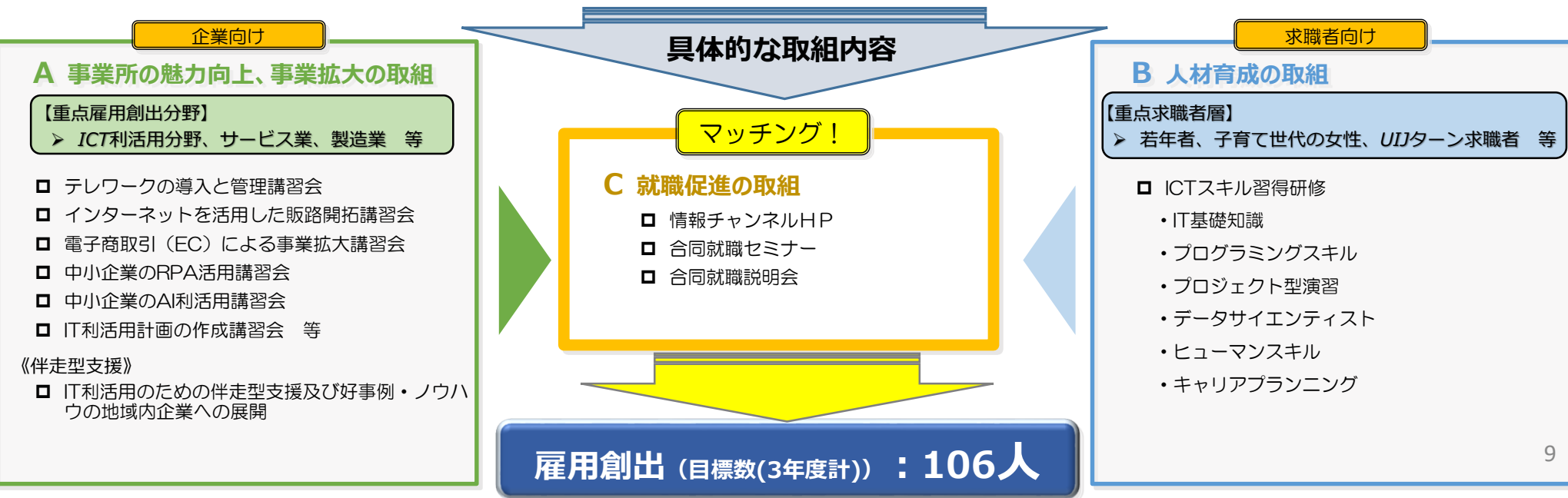


事業 タイトル	くまもと雇用創造プロジェクト ICTデータ利活用人材				
人口 (※1)	734,105人	人口減少率(※2)	0.02%	高齢化率 (※1)	25.57%

※1：H31.1.1時点

※2：（H26.1.1の人口－H31.1.1の人口）／H26.1.1の人口。なお、全国平均は0.77%

地域の現状・課題	事業の全体像
・ 少子高齢化による人口減少に加え、若年層の県外転出や、熊本地震に伴う復興需要といった特殊要因が重なり、県内の有効求人倍率は全国平均を上回る水準で推移している。 ・ 企業の人手不足を背景とした長時間労働や業務縮小、倒産などが懸念される。一方で、時間外労働の縮減をはじめとする働き方改革への対応が求められている。 ・ 労働力人口の減少対策としてUIJターンの促進に取り組んでいるが、県外から移住してくる者は少数である。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策としても、テレワークや非対面ビジネスソリューションの導入の重要性が増している。	ICT利活用による地域の小規模・中小企業の生産性向上を図るとともに、地域求職者のICTスキルの向上並びに地域企業とのマッチングを行う。 具体的には、商工会議所、業界団体等地域の関係機関と連携し、地域企業に対し、各種講習会、伴走型支援を通じて魅力ある雇用を確保する。 また、それを担う人材を各種講習会で育成した上で、Web合同就職説明会等を通じてマッチングを図り、地域雇用の安定化を目指す。併せて、労働力人口減少に対応するため、魅力ある雇用を発信し、UIJターン希望者等の地域への誘導や新規卒者の地域内就職を図る。



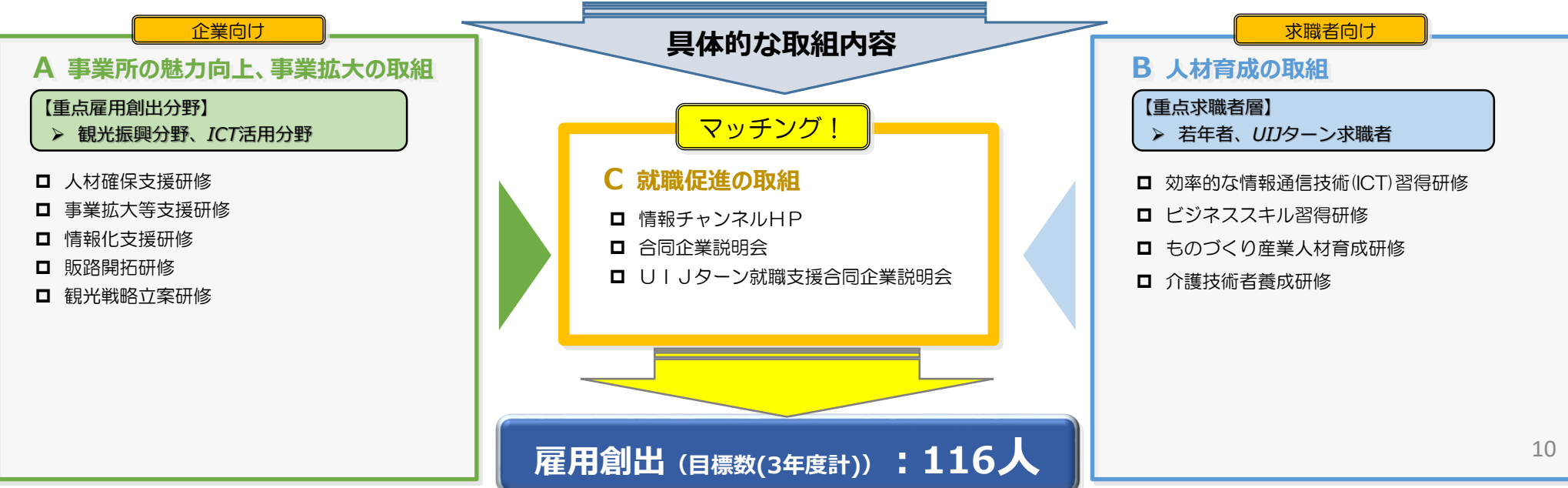


事業 タイトル	人を残す！会社を残す！～ 天草宝島の雇用創出プロジェクト～				
人口 (※1)	115,778人	人口減少率(※2)	8.76%	高齢化率 (※1)	38.74%

※1：H31.1.1時点

※2：（H26.1.1の人口－H31.1.1の人口）／H26.1.1の人口。なお、全国平均は0.77%

地域の現状・課題	事業の全体像
・世界文化遺産登録効果、相次ぐ新規施設の開業など、交流人口のさらなる拡大が期待されるが、これらを活かす観光戦略立案が必要。 ・観光入込客数は回復傾向だが、宿泊客数は低迷したまま。 ・主要な産業は低い労働生産性のまま。 ・製造業、建設業でロボットや設備を制御するプログラム開発やシステム操作を行う高度人材が求められているが、対応できる人材が不足。 ・福祉・介護の充足率は20%を切っている状態。 ・少子高齢化による生産年齢人口の減少が進み、若年者の都市部への流出が止まらない状況。 ・人材不足社会における優秀な人材の確保が必須。	観光振興分野、ICT活用分野を重点分野に設定し、地域内の行政、商工・観光・経済団体等、地域の関係機関との連携のもと、各種講習会を通じて魅力ある雇用を確保する。 また、それを担う人材を各種講習会で育成した上で、就職面接会等を通じてマッチングを図り、地域雇用の安定化を目指す。 併せて、労働力人口減少に対応するため、魅力ある雇用を発信し、UIJターン希望者等の地域への誘導や新規高卒者の地域内就職を図る。



《目的》

雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域等による、地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るための創意工夫ある取組を支援する

【提案可能地域】

I. 雇用機会不足地域（次の①、②いずれかに該当する地域）

- ① 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が全国平均（1を超える場合には1.00。0.67未満である場合には0.67）以下であること
- ② 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が1未満であって、最近5年間で人口が全国平均以上に減少していること

II. 過疎等地域

過疎地域自立促進特別措置法（平成12年3月31日法律第15号）による過疎地域や重大な災害の被害を受けた地域として厚生労働大臣が別途定める地域

【事業規模（委託費上限）】

各年度4千万円

複数の市町村で連携して実施する場合、1地域当たり2千万円／年を加算（加算上限1億円／年）

【実施期間】

3年度以内

《事業スキーム》

